

平成28年度 事務事業評価シート

事務事業名	事業系ごみの排出指導					所管	環境清掃部 台東清掃事務所	
	行政計画	事業NO.	114	計画事業名	事業系ごみの排出指導	事業の開始・終了年度		
事務事業の概要	長期総合計画体系	[基本目標] II-2. うるおいのある生活環境づくり					[事業開始] 平成12年度	
		[小 柱] (2)循環型社会づくり					[終了予定] - 年度	
		[施策] ①ごみ減量の推進						
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	東京都台東区廃棄物の処理及び再利用に関する条例				
事業対象	事業用途に供する床面積が1,000㎡以上の事業用大規模建築物の所有者及び廃棄物管理責任者							
事業目的	事業用大規模建築物に対して区が立入指導等を行うことにより、事業系ごみの減量・資源化及び適正処理の推進を図る。							
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業用大規模建築物の所有者から「再利用計画書」「廃棄物管理責任者届」を受理する。 ・事業用大規模建築物に対して、3年に1回程度の立入指導を行う。 ・廃棄物管理責任者等を対象に、ごみの減量・資源化・適正処理に関する講習会を年3回実施する。 							
委託の有無	なし	委託内容						
補助金の有無	なし							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (29年度)	25年度	26年度	27年度	
	活動指標	調査指導件数	件	100	94	75	106	
		廃棄物管理責任者講習会の実施回数	回	3	3	3	3	
	成果指標	再利用計画書提出率	%	100	73.4	74.1	75.4	
		講習会受講者数	人	130	98	103	132	
	決算額 (単位：千円)				273	680	334	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			150,284	148,156	141,371	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			274	680	335	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			0	0	0	
		総経費			150,558	148,836	141,706	
財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
	その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0		
	一般財源 (区負担額)			150,558	148,836	141,706		
前回評価から改善した事項	電話等で講習会受講勧奨に努めた結果、受講者数を増やすことができた。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	台東区から排出されるごみを減らしていくためには、区のごみ量の約7割を占める事業系ごみの減量・資源化を推進していくことが不可欠である。					
	効率性	3	ごみの適正処理に日々携わっている区職員が立入指導や講習会を実施しているため、啓発効果が高くコストについても最小限となっている。					
	手段の適切性	3	事業系ごみの減量・資源化・適正処理を推進していくためには、区職員による立入指導や廃棄物管理責任者への意識啓発が最も効果的である。また、戸別収集の区内全域実施により、通常の収集業務の中で事業者への排出指導を強化している。					
	目的達成度	2	対象建築物484件のうち、365件の再利用計画書が提出された。未提出の事業者に対しては電話や文書で督促するとともに、立入指導を行うなどの対応を図った。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
事業系ごみの減量・資源化・適正処理を推進していくために、立入指導や講習会を通じて廃棄物管理責任者の意識啓発に努めるとともに、通常のごみ収集時におけるきめ細かな排出指導を行っていく。						維持		